

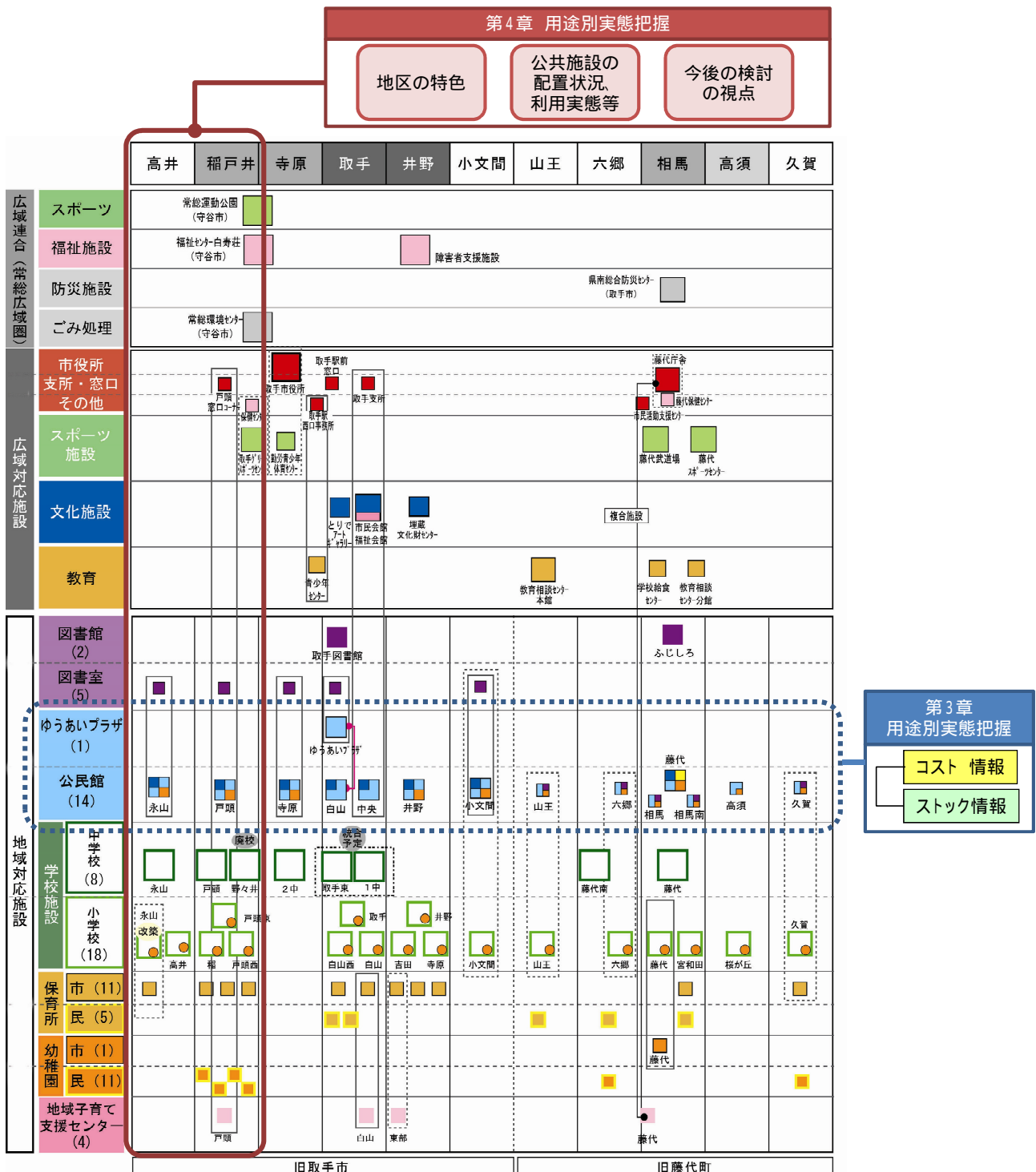
第 4 章 地域ごとの行政施設を通じた
行政サービスの実態

第4章 地域ごとの行政施設を通じた行政サービスの実態

1. 地域別実態把握

中長期的な視点に立ち、公共施設の効果的・効率的なマネジメントを推進しコストを低減していくためには、各地域の人口・地域特性を把握したうえで、地域内における公共施設の整備状況と利用実態を整理し、事務事業の効率化や廃止・統合を視野に総合的に改善の方向性を検討する必要があります。

第4章では、11地域を5つのブロックごとに地域内の施設の課題を抽出・整理し、総合的に検討を行います。



高井地区・稲戸井地区

地区の特色

概要

高井・稲戸井地区は北に小貝川、南に利根川が流れる市の西部を占める地域です。人口は約2.5万人で、市の人口の15%を占めています。面積は約15km²で、市の面積の21%を占めています。地域のほぼ中央を東西方向に関東鉄道常総線、国道294号や常総ふれあい道路が通っています。

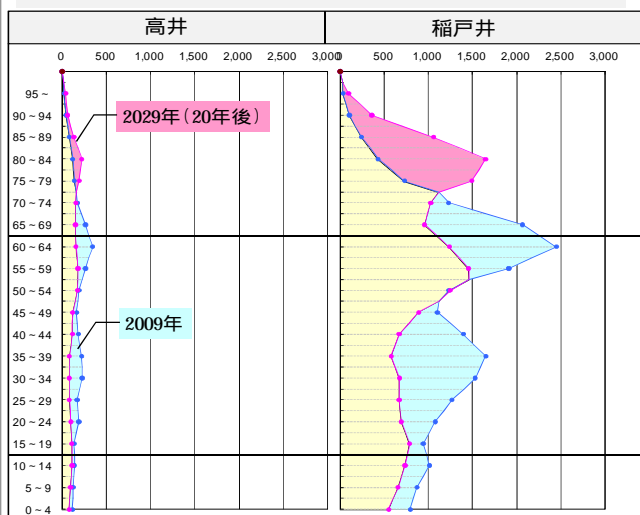
西部に戸頭団地、東部に取手中央タウンという大規模住宅地があります。また、ほぼ中央に位置する下高井・野々井地区では、新市街地の整備が進められており、2011年3月のまち開きにあわせて、常総線のゆめみ野駅も開業しました。

人口

高井・稲戸井地区の人口の総数は今後20年間で-22%の減少が見込まれています。

現状、高齢人口比率は、23.5%（高井25%、稲戸井22%）ですが、20年後には地区全体で38.5%で15ポイントの大幅な増加予測となっています。

現状、年少人口比率は、11.5%（高井11%、稲戸井12%）ですが、20年後も地区全体で11.5%でほぼ同じ予測となっています。



	高井		稲戸井	
	2009年	2029年	2009年	2029年
地区全体人口	3,291	2,438	22,064	17,464
(20年間人口増減)		-853		-4,600
高齢者人口	838	952	4,831	6,630
高齢者人口比率	25%	39%	22%	38%
生産年齢人口	2,076	1,201	14,558	8,895
生産年齢人口比率	63%	49%	66%	51%
年少人口	377	285	2,675	1,938
年少人口比率	11%	12%	12%	11%

地域実態マップ

		高井	稲戸井		
西暦：建築年度 m ² ：延床面積 □：複合施設 □：隣接施設		人口：3,291人 面積：459.2ha 人口密度：7.2人/ha	人口：22,064人 面積：1012.1ha 人口密度：21.8人/ha		
広域対応施設	市役所 支所・窓口 その他		戸頭窓口 保健センター		
	スポーツ施設		取手グリーンセンター		
	文化施設				
	教育				
地域対応施設	図書館(0)				
	図書室(2)				
	ゆうあいプラザ(0)				
	公民館(2)	1976年 818m ² 調理室 永山	ステージ(舞台) 1,610m ² 戸頭		
	中学校(3)	1973年 5,239m ² 永山	1976年 7,374m ² 戸頭	1987年 5,937m ² 廃校 野々井	
	小学校(5)	1961年 5,335m ² 改築 永山	1982年 4,903m ² 高井	1982年 5,912m ² 稲 1975年 6,676m ² 戸頭西	1978年 5,930m ² 戸頭東
	保育所	市(4) 民(0)	永山 (民営化予定) 稲	戸頭北 (民営化予定) 戸頭東	
	幼稚園	市(0) 民(4)		取手ふたば文化 戸頭 めぐみ あづま	
	地域子育て支援センター	(1)		戸頭	

公共施設配置の状況

学校施設

現在、小学校は5校ありますが、戸頭西小学校を戸頭東小学校に統合し、全体で4校とする計画です。中学校は統廃合により既に3校から2校となっています。

公民館・図書館

公民館はいずれも図書室を併設した2施設で、戸頭公民館は窓口コーナーと地域子育て支援センターとも複合化しています。戸頭公民館図書室は市内で取手図書館・ふじしろ図書館に次ぐ利用数があります。

児童施設

保育所は市立保育所が4施設あり、私立はありません。幼稚園は私立の4施設となっています。私立の保育所がないことから、市立保育所のうち2施設の民営化が計画されています。なお、保育所の入園率は2施設が定員に達していますが、残り2施設はそれぞれ76、87%となっています。幼稚園は余裕がある状況となっています。

その他施設

当地域には、上記以外の施設として総合体育館の取手グリーンスポーツセンターがあります。

今後の検討の視点

学校施設

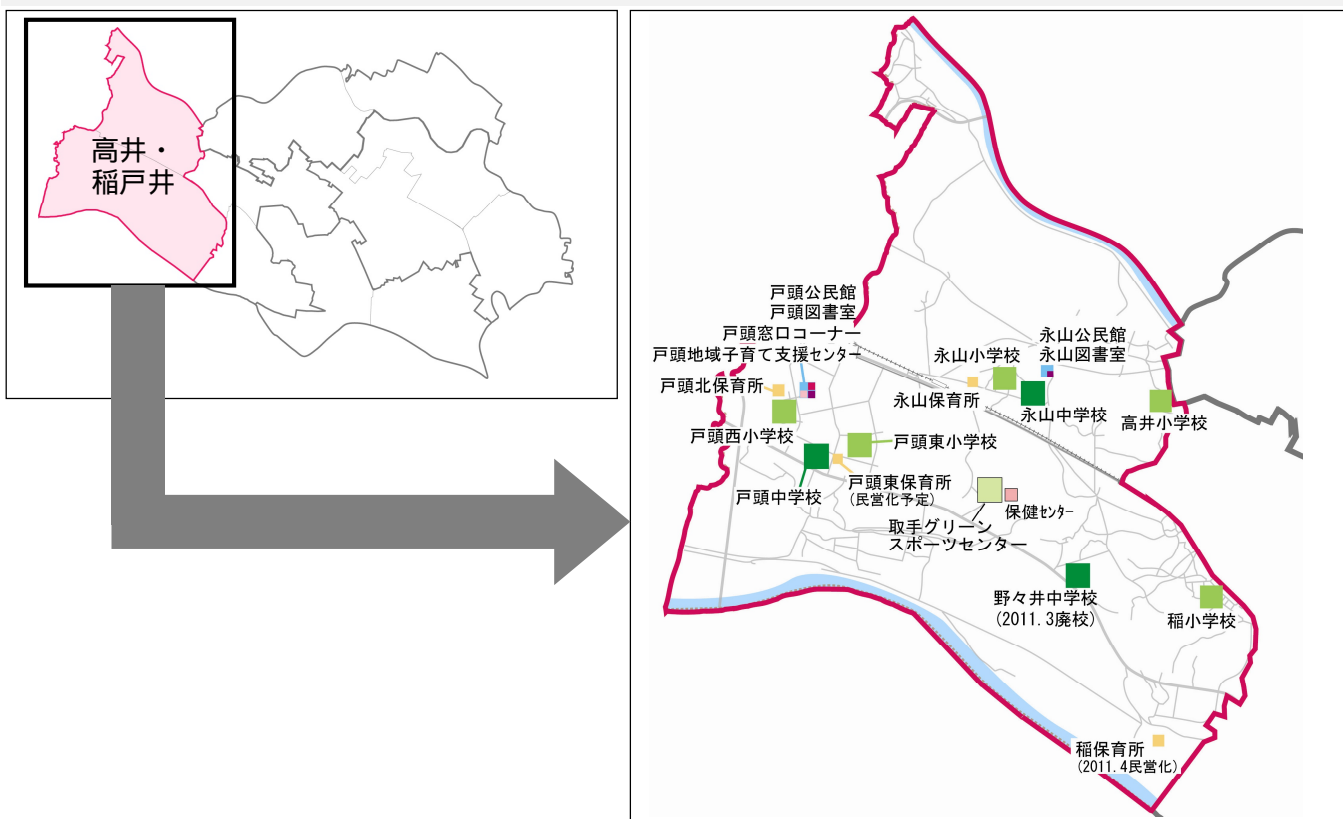
小中合わせて2校が廃校となる計画があり、跡地の有効活用が望まれます。地区の将来人口は減少が予測されていますが、新市街地整備の進捗による人口変動とも併せて、他の用途の施設との共用化などの合理的な検討が必要です。

公民館・図書館

戸頭公民館は多用途の複合施設で、規模・利用数も比較的大きいことから、今後、より稼働率を上げる魅力的な事業や効率のよい運営が望まれます。下高井地区では新市街地整備が進行中であり、人口変動への対応として、建物の老朽化の進んだ永山公民館では、耐震化と老朽化への対応が求められます。また、永山公民館には図書室が併設されていますが、利用者数と利用率の動向を勘案し、今後の図書室利用のあり方を検討することが必要です。

児童施設

新市街地整備による人口変動や、就労の多様化による保育需要の増加にも対応できる柔軟な体制が望まれます。現状では、市立保育所の民営化や定員の見直しによる対応とともに、幼稚園も含めた地域全体の保育環境の整備が重要と考えられます。



寺原地区・取手地区

地区の特色

概要

寺原・取手地区は、市の南西部に位置する取手駅を含む都市計画道路上新町環状線の沿線を中心とした地域です。人口は約3.2万人で、市の人口の19%を占めています。

面積は約11km²で、市の面積の16%を占めています。JR常磐線と関東鉄道常総線が取手駅に乗り入れ、国道6号に、主要地方道取手東線、国道294号や常総ふれあい道路が結節するなど、交通の要衝で県南の玄関口になっています。

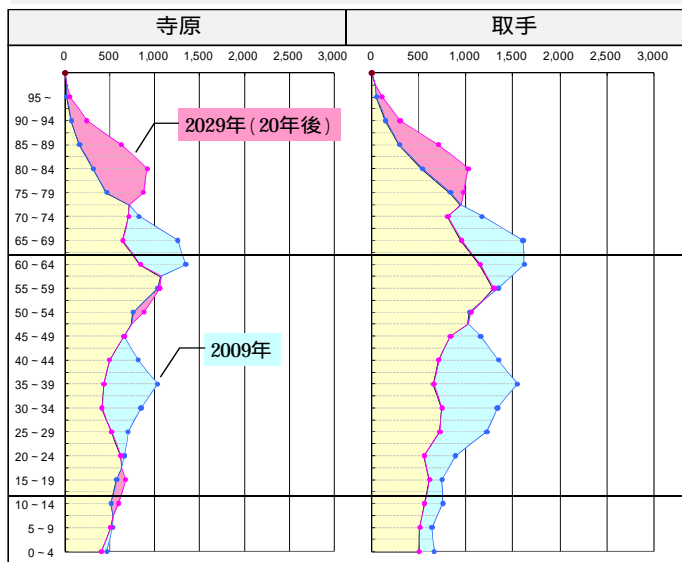
取手駅周辺は本市の中心市街地であり、また本市の行政の中核となる取手市役所や大規模工場、取手競輪場も立地しています。

人口

寺原・取手地区の人口の総数は今後20年間で-16%の減少が見込まれています。

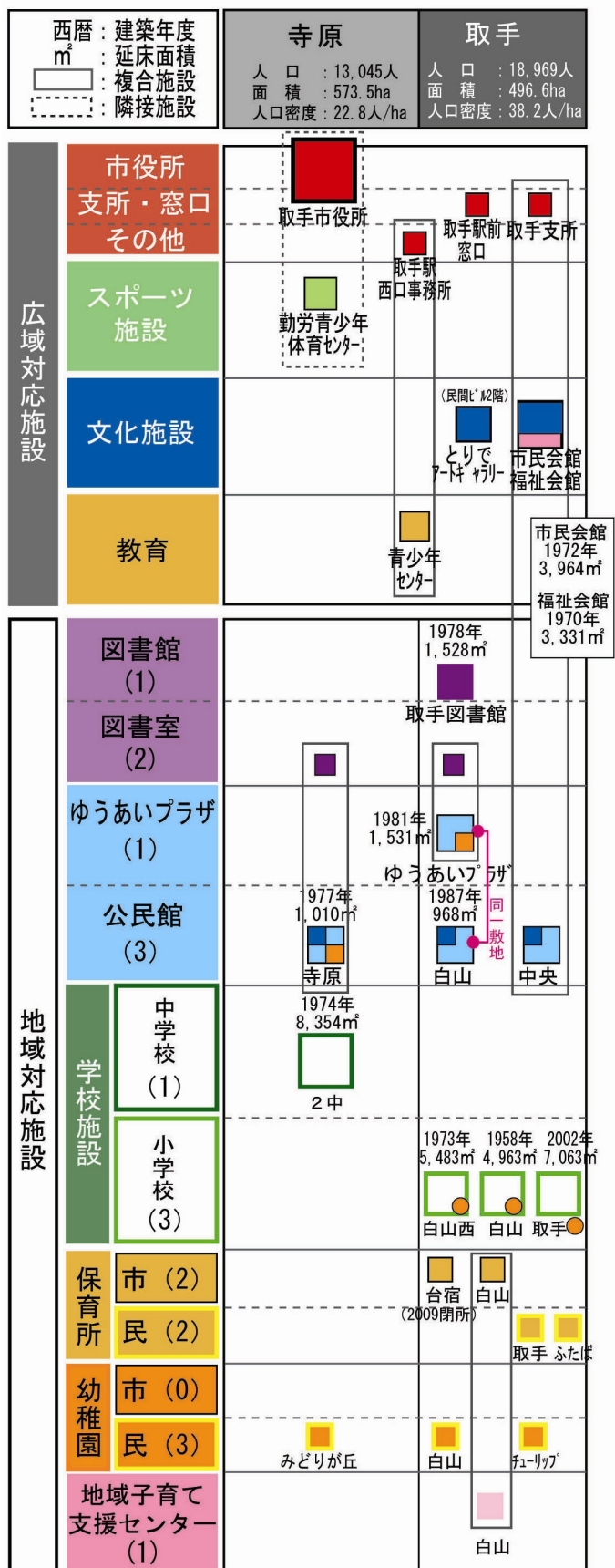
現状、高齢人口比率は、24.5%（寺原24%、取手25%）ですが、20年後には地区全体で33%で8.5ポイントの大幅な増加予測となっています。

現状、年少人口比率は、11.5%（寺原12%、取手11%）ですが、20年後も地区全体で11.5%でほぼ同じ予測となっています。



	寺原		取手	
	2009年	2029年	2009年	2029年
地区全体人口	13,045	12,160	18,969	14,826
(20年間人口増減)		-885		-4,143
高齢者人口	3,106	4,062	4,650	4,888
高齢者人口比率	24%	33%	25%	33%
生産年齢人口	8,433	6,588	12,261	8,362
生産年齢人口比率	65%	54%	65%	56%
年少人口	1,506	1,511	2,058	1,577
年少人口比率	12%	12%	11%	11%

地域実態マップ



公共施設配置の状況

学校施設

現在、小学校は3校あり、白山西小学校は、隣接地区の稲小学校と統合予定です。中学校は1校で、現状維持の計画となっています。

公民館・図書館

公民館は、図書室併設の寺原、取手地区の福祉会館内、図書室を持つゆうあいプラザ隣接の白山公民館の3施設あります。また、取手地区には蔵書14.8万冊の取手図書館があります。

児童施設

保育所は、市立保育所2施設のうち1施設は廃止予定です。私立保育園は2施設あり、全体では概ね定員と同程度の入園数で、比較的バランスの取れた施設配置となっています。幼稚園は私立が3園あり、50～60%程度の入園率です。

その他施設

当地区は市の中心地であり、取手市役所庁舎・取手駅前窓口のほか、市民会館・福祉会館、とりでアートギャラリー、青少年センターなどの広域対応施設が設置されています。

今後の検討の視点

学校施設

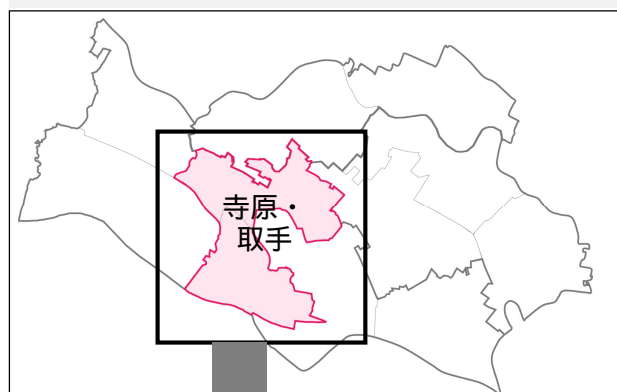
市役所にも近い白山西小学校の統廃合による跡地利用の有効活用が望まれます。また、地区全体の将来人口は減少が予測されるものの、取手駅周辺の整備状況による変動要因も考えられることから、他施設との施設の共用化なども含め、現状の施設を維持しながら有効活用を図っていくことが重要と考えます。

公民館・図書館

ゆうあいプラザと白山公民館の一体的な管理・運営や、各公民館併設図書室と取手図書館のあり方の見直しなどが検討課題としてあげられます。それとともに、市民会館・福祉会館など施設の耐震化・老朽化の問題があり、早急な改修や施設の再配置も含めた検討が必要です。

児童施設

現状の施設配置は適正な状況ですので、施設の現状を維持しながらも、保育ニーズの動向に合わせた柔軟な対応が求められます。



井野地区・小文間地区

地区の特色

概要

井野・小文間地区は、取手駅周辺の中心市街地の東、利根川右岸に位置する小堀地区を含む地域です。人口は約 2.0 万人で、市の人口の 12% を占めています。

面積は約 12 km²で、市の面積の 17% を占めています。井野団地という大規模住宅団地もあります。

人口

井野・小文間地区の人口の総数は今後 20 年間で -21% の減少が見込まれています。

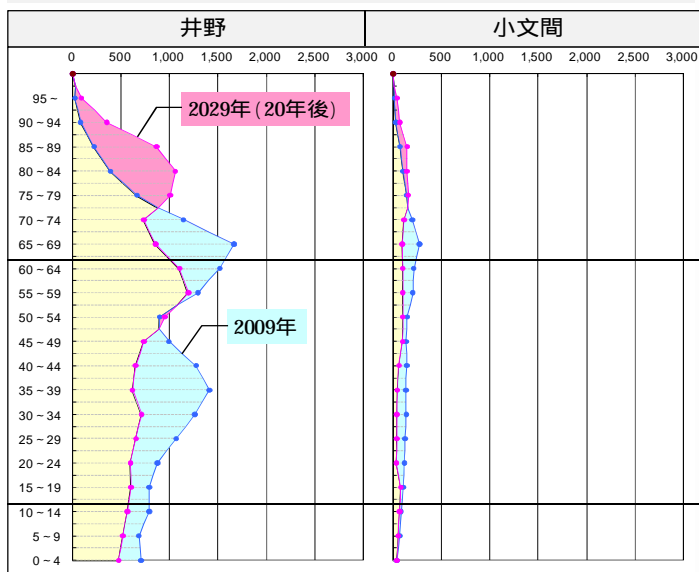
現状、高齢人口比率は、29.0% (井野 24%、小文間 34%) ですが、20 年後には地区全体で 41.0% で 12 ポイントの大幅な増加予測となっています。

現状、年少人口比率は、10.0% (井野 12%、小文間 8%) ですが、20 年後も地区全体で 10.5% でほぼ同じ予測となっています。

地域実態マップ

西暦：建築年度 m ² ：延床面積 □：複合施設 □：隣接施設	井野 人口：17,748人 面積：567.9ha 人口密度：31.3人/ha	小文間 人口：2,463人 面積：609.3ha 人口密度：4.0人/ha
---	--	---

広域対応施設	市役所 支所・窓口 その他	
	スポーツ施設	
	文化施設	埋蔵文化財センター
	教育	



	井野		小文間	
	2009年	2029年	2009年	2029年
地区全体人口	17,748	14,332	2,463	1,598
(20年間人口増減)		-3,416		-865
高齢者人口	4,188	4,964	827	759
高齢者人口比率	24%	35%	34%	47%
生産年齢人口	11,378	7,813	1,446	685
生産年齢人口比率	64%	55%	59%	43%
年少人口	2,182	1,556	190	154
年少人口比率	12%	11%	8%	10%

地域対応施設	図書館 (0)			
	図書室 (1)			
	ゆうあいプラザ (0)			
	公民館 (2)	1983年 1,066m ² 井野	1975年 639m ² 調理室 小文間	
	学校施設	中学校 (2)	1979年 6,481m ² 取手東 1969年 7,790m ² 1中 (統合予定)	
		小学校 (4)	1977年 4,234m ² 吉田 1965年 4,777m ² 寺原 井野 1969年 6,814m ² 1964年 3,169m ² 小文間	
	保育所	市 (3)	吉田 舟山 井野 (民営化予定)	
		民 (0)		
	幼稚園	市 (0)		
		民 (2)	ふーりッパ第二 取手	みどりが丘
地域子育て支援センター (1)	東部			

公共施設配置の状況

学校施設

現在、小学校は4校ですが、井野・小文間の2校は吉田小学校に統合し、全体で2校とする計画です。中学校は、近接した取手第一中学校・取手東中学校の2校を、現在の取手東中学校の位置に、新生取手第一中学校として統合する計画となっています。

公民館・図書館

公民館は、小文間地区の図書室併設の小文間公民館、井野地区の井野公民館の2施設で、井野公民館は、市内の公民館の中で最も利用者の多い公民館です。

児童施設

保育所は市立保育所が3施設で、私立保育園はありません。概ね70～80%の入園率となっています。幼稚園は私立が2園あり、入園率は30～40%程度にとどまります。なお、吉田保育所は地域子育て支援センターを併設した施設です。

その他施設

上記以外の施設として、井野地区に埋蔵文化財センターがあります。

今後の検討の視点

学校施設

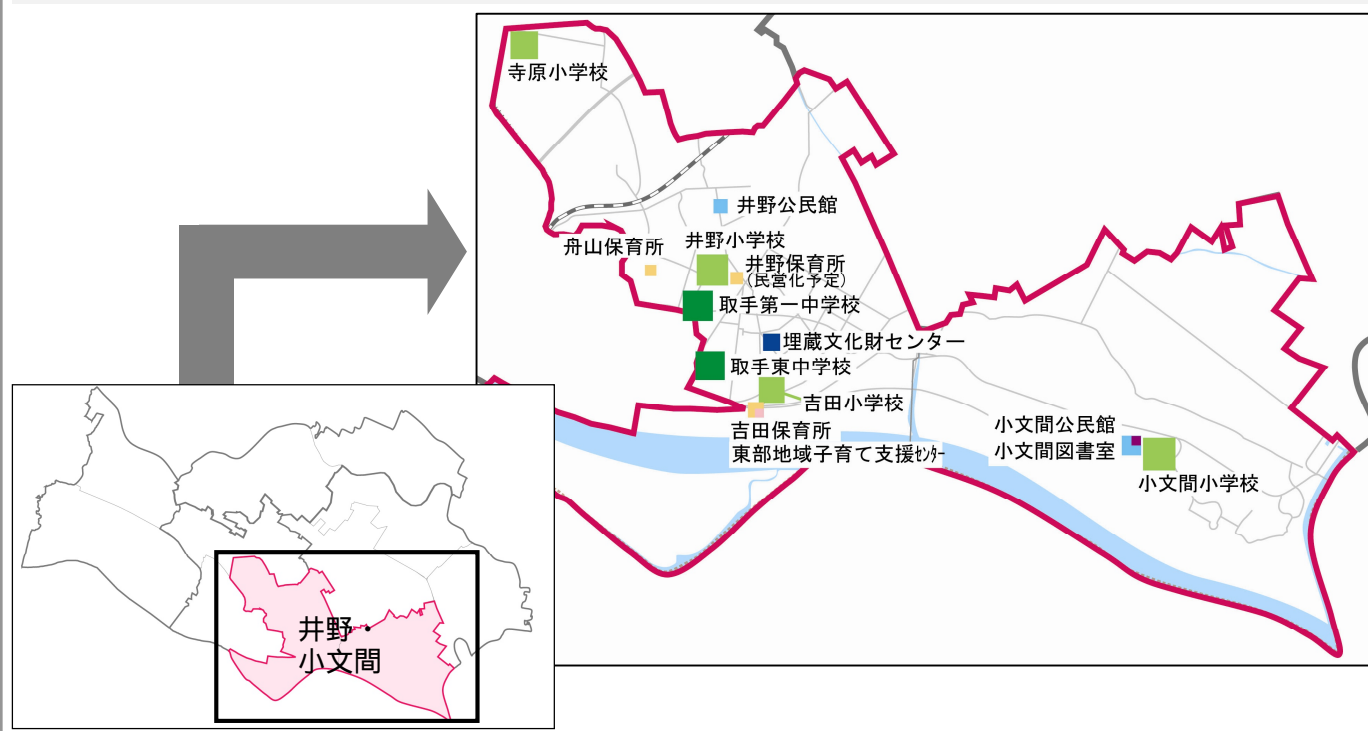
小学校の統廃合の際には、通学距離が長くなる小文間地区からの通学への配慮が不可欠で、スクールバスなどの運行が必要になります。

公民館・図書館

現在の施設配置は、地域対応施設として妥当なものでありますが、利用者数などの利用状況と施設の維持・運営にかかるコストを勘案しながら、検討していく必要があります。特に、小文間公民館は耐震化や老朽化対策の必要な建物でもありますので、利用に見合った施設形態の再検討が必要と考えます。

児童施設

井野地区は市内11地区中3位の人口を有する地区であることと、就労形態の多様化による保育ニーズの変化に柔軟に対応できる体制が必要です。また、井野保育所の民営化が計画されています。



山王地区・久賀地区

地区の特色

概要

山王・久賀地区は、牛久沼と小貝川の周辺の優良農地や集落、住宅地で構成される地域です。人口は約0.7万人で、市の人口の4%を占めています。

面積は約14km²で、市の面積の20%を占めています。

紫水と双葉に形成された住宅地を除き、集落と優良農地が広がっています。

人口

山王・久賀地区の人口の総数は今後20年間で-16%の減少が見込まれています。

現状、高齢人口比率は、29.5%（山王30%、久賀29%）ですが、20年後には地区全体で35%で6ポイントの大幅な増加予測となっています。特に、山王地区の20年後の比率は40%と市全体より高くなっています。

現状、年少人口比率は、10%（山王9%、久賀11%）ですが、20年後も地区全体で11.5%と若干の微増予測となっています。

地域実態マップ

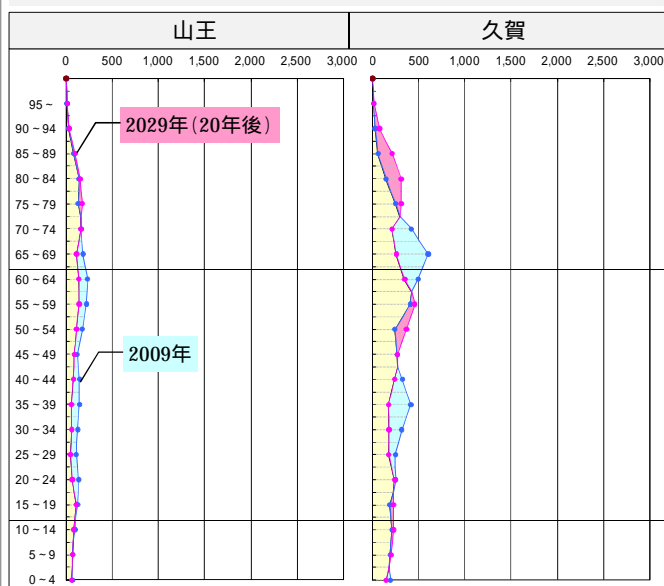
西暦：建築年度 m ² ：延床面積 □：複合施設 □：隣接施設	山王 人口：2,487人 面積：812.8ha 人口密度：3.1人/ha	久賀 人口：5,261人 面積：550.2ha 人口密度：9.6人/ha
---	--	--

広域対応施設

市役所 支所・窓口 その他	
スポーツ施設	
文化施設	
教育	教育相談センター本館

地域対応施設

図書館 (0)		
図書室 (0)		
ゆうあいプラザ (0)		
公民館 (2)	1985年 407m ² 図書コーナー 調理室 山王	1983年 355m ² 久賀
中学校 (0)		
小学校 (2)	1972年 3,261m ² 山王	久賀 1973年 5,372m ²
保育所 市(1) 民(1)	育英	久賀
幼稚園 市(0) 民(1)		つつみ
地域子育て 支援センター (0)		



	山王		久賀	
	2009年	2029年	2009年	2029年
地区全体人口	2,487	1,852	5,261	4,633
(20年間人口増減)		-635		-628
高齢者人口	736	743	1,517	1,389
高齢者人口比率	30%	40%	29%	30%
生産年齢人口	1,522	897	3,149	2,668
生産年齢人口比率	61%	48%	60%	58%
年少人口	229	212	595	576
年少人口比率	9%	11%	11%	12%

公共施設配置の状況

学校施設

現在、小学校は2校ですが、それぞれ隣接地区の六郷・藤代小学校との統合が計画されています。中学校は当地区内にはありません。

公民館・図書館

公民館は、山王・久賀のそれぞれの地区に1施設あり、久賀公民館には、公民館に併設された図書室があります。

児童施設

保育所は市立保育所が1施設、私立保育園が1施設あります。市立の久賀保育所の入園率は90%弱、私立の育英保育園は若干定員を超えています。幼稚園は私立幼稚園が1園あり、入園率は80%程度となっています。

その他施設

山王地区の岡に教育相談センター本館が設置されています。

今後の検討の視点

学校施設

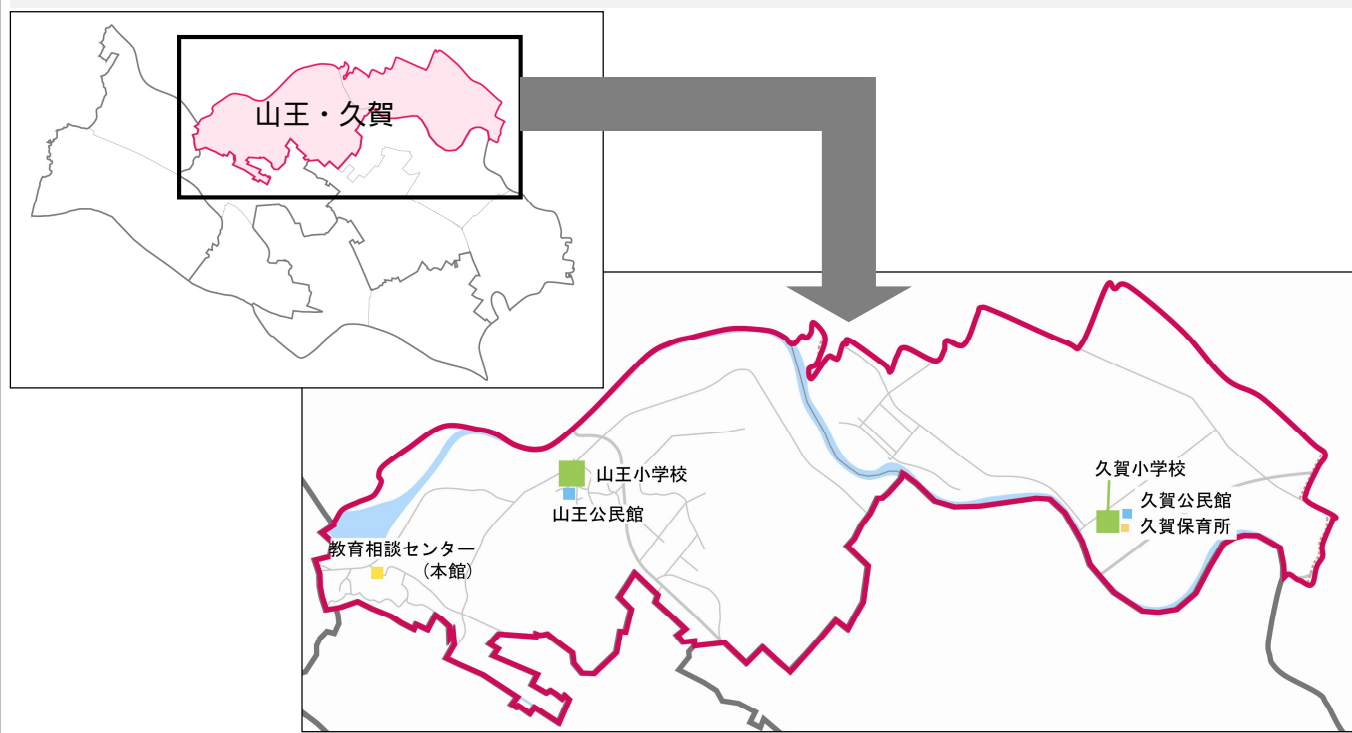
山王地区の児童生徒は、統合先の六郷小学校への通学距離が長くなることから、通学への配慮が不可欠で、スクールバスなどの運行が必要になります。

公民館・図書館

施設利用者数は、市内14施設のうち山王公民館が最も少なく、久賀公民館は3番目に少ないのが現状です。建物はいずれも新耐震基準の施設ですが、築20年を超えていますので、老朽化対策も必要になってきます。施設の維持・運営にかかるコストを勘案し、今後の施設のあり方の検討が必要です。

児童施設

現状の入園率も若干余裕があることから、当面の施設は現状維持が妥当と考えられます。



六郷地区・相馬地区・高須地区

地区の特色

概要

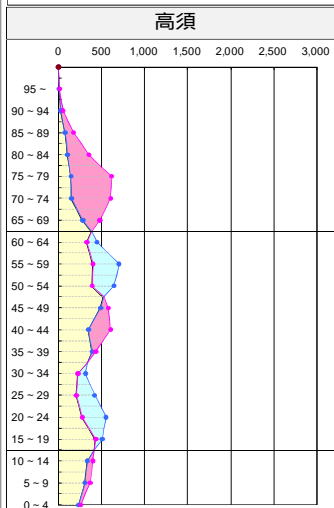
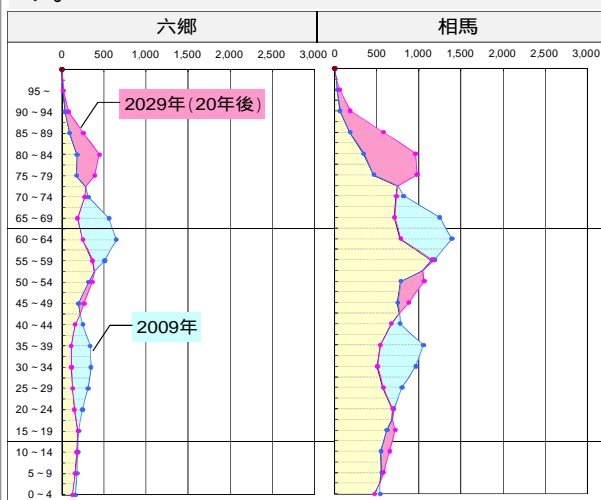
六郷・相馬・高須地区は、藤代駅周辺を含む旧藤代町の中心地域です。人口は約2.4万人で、市の人口の14%を占めています。

面積は約19km²で、市の面積の27%を占めています。

人口

六郷・相馬・高須地区の人口の総数は今後20年間で-3%の微減傾向が見込まれていますが、高須地区単独では10%以上の人口増が見込まれており、市内で最も人口増加が予想される地域となっています。

高齢人口比率は、現状で20.3%（六郷26%、相馬23%、高須12%）ですが、20年後には地区全体で34.0%と14ポイントの大幅な増加予測となっています。特に高須地区は、20ポイントの増加予測となっています。年少人口比率は、現状12%（六郷10%、相馬12%、高須14%）ですが、20年後も地区全体で12.7%と微増予測となっています。



地域実態マップ

		六郷	相馬	高須
西暦：建築年度		人口：5,238人	人口：13,831人	人口：6,474人
m ² ：延床面積		面積：724.3ha	面積：578.3ha	面積：611.8ha
□：複合施設		人口密度：7.2人/ha	人口密度：23.9人/ha	人口密度：10.6人/ha
□：隣接施設				

施設種別	六郷		相馬		高須	
	施設名	面積	施設名	面積	施設名	面積
市役所 支所・窓口 その他	藤代庁舎		藤代保健センター			
スポーツ施設	藤代武道場		藤代スポーツセンター			
文化施設	複合施設					
教育			1983年 学校給食センター		1983年 教育相談センター分館	
図書館			2002年 ふじしろ			
図書室						
ゆうあいプラザ						
公民館			1981年 359m ²	1980年 1,793m ²	1988年 458m ²	1986年 445m ²
中学校	1982年 7,860m ² 藤代南		1977年 7,060m ² 藤代			
小学校	1964年 4,388m ² 六郷		1978年 5,133m ² 藤代	1981年 6,196m ² 宮和田	1993年 5,890m ² 桜が丘	
保育所	市(1) 民(2) たちばな		市(1) 民(1) 中央 共生			
幼稚園	市(1) 民(1) 光風台		藤代			
地域子育て支援センター	1) 藤代					

	六郷		相馬		高須	
	2009年	2029年	2009年	2029年	2009年	2029年
地区全体人口	5,238	4,178	13,831	13,514	6,474	7,199
(20年間人口増減)		-1,060		-317		725
高齢者人口	1,364	1,638	3,153	4,212	783	2,296
高齢者人口比率	26%	39%	23%	31%	12%	32%
生産年齢人口	3,349	2,083	9,031	7,596	4,814	3,877
生産年齢人口比率	64%	50%	65%	56%	74%	54%
年少人口	525	457	1,647	1,705	877	1,026
年少人口比率	10%	11%	12%	13%	14%	14%

公共施設配置の状況

学校施設

現在、小学校は4校あり、藤代小学校は市立藤代幼稚園と複合化しています。また、藤代・六郷小学校は、それぞれ隣接地区の久賀・山王小学校との統合が計画されています。

中学校は2校あり、現状維持の計画となっています。

公民館・図書館

公民館は5施設あり、そのうち公民館に併設された図書室が2施設あります。その他に蔵書11.7万冊のふじしろ図書館が配置されています。

児童施設

保育所は、市立保育所1施設、私立保育園が2施設あります。市立保育所の入園率は73%、私立保育園はいずれも定員を超えています。

幼稚園は、前述の市立藤代幼稚園のほかに、私立幼稚園が1施設あります。入園率は80～90%程度で、地区全体では定員を若干下回る入園率で、比較的バランスの取れた施設配置となっています。

その他施設

当地区は旧藤代町の中心地であり、市役所藤代庁舎をはじめ、前述のふじしろ図書館、藤代スポーツセンター、藤代武道場などの広域対応施設もあり、取手駅周辺に次ぐ公共施設集中地域となっています。

今後の検討の視点

学校施設

市内で最も将来人口の増加が見込まれる当地区では、隣接地区からの小学校統合が計画され、適正な範囲での規模拡大が図られ、各種設備や人材の集中による効率化が期待されます。それに伴い、施設の耐震化や老朽化対策は環境対応も含め急務であり、学校耐震化計画の着実な実施が必要です。

公民館・図書館

相馬・相馬南・藤代の各公民館は比較的近接しており、施設のあり方の検討が必要と考えられます。他の公民館は地域ごとに分散していますが、藤代公民館を除く各施設は、取手地区などに比べて利用率は低くなっており、今後の活用方法や運営の見直しが望まれます。なお、藤代・高須・六郷の3施設は、早急な耐震化及び老朽化対策も必要ですので、改修費用も含めた見直しが急務といえます。

児童施設

現状では多少余裕があるものの、人口や保育ニーズの動向に応じた適切な対応が必要です。

その他施設

藤代庁舎・ふじしろ図書館・藤代スポーツセンターなど、広域対応の大規模施設では、維持・運営コストも大きくなっています。取手地区の同様の機能をもつ施設との役割分担のあり方や統合などにより、より効果的なコスト削減効果が期待できるものと考えます。

